

## 洲本市子ども・子育て支援事業計画 平成 30 年度主な事業の実施状況

## 1 幼児期の教育・保育

	計画		実績	
	量の見込み	確保方策	利用状況	計画との差
1号認定	255人	255人 (確認を受けない 幼稚園を含む)	265人 (確認を受けない 幼稚園を含む)	10人
2号認定	615人	615人	624人	9人
3号認定	292人	292人	316人	24人
合計	1,162人	1,162人	1,205人	43人

## 【実施状況】

平成30年度実績では量の見込みを43人上回る結果となっています。利用区分別で見ると、3号認定(3歳未満・保育利用)で比較的多く見込みを上回っており、低年齢児での保育利用希望の増加が見受けられます。

本市では平成31年4月より公立認定こども園を開設し、保育の利用定員を増やして保育需要の増加に対応していますが、10月からの幼児教育・保育の無償化によってどのような影響がでるのか、ニーズ調査の結果も踏まえながら、今後の需給計画を検討して参ります。

## 2 時間外保育事業(延長保育事業)

	計画		実績	
	量の見込み	確保方策	利用状況	計画との差
利用実人数	90人	90人	44人	46人

## 【実施状況】

平成30年度の利用状況は量の見込みを下回っていますが、保育需要の高まりを考慮し、引き続き提供体制を維持します。

### 3 放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）

登録児童数	計画		実績	
	量の見込み	確保方策	利用状況	計画との差
低学年	309 人	309 人	410 人	101 人
高学年	31 人	31 人	17 人	▲14 人
合 計	340 人	340 人	427 人	87 人

#### 【実施状況】

未就学児の保育ニーズと同様に、放課後児童クラブの利用希望も増加傾向にあります。

平成31年4月より広石小学校区内において新たに放課後児童クラブを開設し、他校区の児童の受け入れもするなど、事業の拡大を図っています。

今後、特に高学年までの受け入れが課題となっており、児童の安全な保育環境を図る観点からも、市所管施設の有効活用や小学校の余裕教室等の活用促進など、提供体制の確保に努めます。

### 4 子育て短期支援事業（ショートステイ）

	計画		実績	
	量の見込み	確保方策	利用状況	計画との差
年間延べ 利用人数	10 人日	10 人日	1 人	▲9 人

#### 【実施状況】

平成27年度より本事業を開始していますが、利用数は量の見込みを下回っており、確保の方策においても充足している状況となります。

引き続き、保護者の疾病等の理由により養育を受けることが一時的に困難となった児童に対する支援の強化に努めます。

## 5 地域子育て支援拠点事業

計画		実績	
量の見込み	確保方策	実施箇所数	計画との差
4,655 人回	2 箇所	2 箇所	—

### 【実施状況】

平成30年度より、市内2箇所で開設している子育て学習センターを地域子育て支援拠点事業として整備し、事業を実施しています。

今後も引き続き多くの利用につながるよう内容の充実に取り組みます。

## 6 一時預かり事業

年間延べ 利用人数	計画		実績	
	量の見込み	確保方策	利用状況	計画との差
3～5 歳 (1号)	6,231 人	6,231 人	6,379 人	148 人
3～5 歳 (2号)	7,214 人	7,214 人	8,695 人	1,481 人
0～5 歳	633 人	633 人	570 人	▲63 人

### 【実施状況】

平成30年度の利用実績では、3～5歳の預かり保育において、量の見込みを上回る状況となっていますが、提供体制は確保されています。

引き続き、利用ニーズに応じた事業実施に努めます。

## 7 病児・病後児保育事業

計画		実績	
量の見込み	確保方策	実施箇所数	計画との差
312 人日	0 人日	0 箇所	—

### 【実施状況】

平成 31 年 4 月より新たに開設した公立認定こども園に病後児保育室を設け、事業に取り組んでいます。

## 8 子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター事業）

計画		実績	
量の見込み	確保方策	実施箇所数	計画との差
144 人日	0 人日	0 箇所	—

### 【実施状況】

ファミリーサポートセンター事業については、現在実施しておりません。利用者ニーズについては、一時預かり事業（0～5歳）、放課後児童クラブ等で対応を行っています。

## 9 利用者支援事業

計画		実績	
量の見込み	確保方策	実施箇所数	計画との差
1 箇所	1 箇所	1 箇所	—

### 【実施状況】

利用者支援事業については、平成29年度より母子保健型として事業を実施しています。

## 10 乳児家庭全戸訪問事業（こんにちは赤ちゃん訪問事業）

	計画		実績	
	量の見込み	確保方策	利用状況	計画との差
利用実人数	276 人	276 人	226 人	▲50 人

### 【実施状況】

保健師、助産師、家庭児童相談員により対象家庭を訪問して事業を実施しています。児童数は減少傾向にありますが、今後も引き続き、全ての家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供や養育環境等の把握を行い育児に関する不安の解消を目指します。

## 11 養育支援訪問事業

	計画		実績	
	量の見込み	確保方策	利用状況	計画との差
利用実人数	4 人	4 人	1 人	▲3 人

### 【実施状況】

利用状況に関わらず、要保護児童等に対する支援のために関係機関との連携強化に努めるとともに、支援が特に必要な対象者の家庭に対し支援員等を派遣し、引き続き育児不安の解消に努めます。

## 12 妊婦健康診査

	計画（H27年度）		実施状況	
	量の見込み	確保方策	利用状況	計画との差
年間受診延べ人数	346人	346人	300人	300人

### 【実施状況】

助成券の交付により、妊婦健康診査に係る費用の助成を行っています。本事業は、妊婦がより健やかな妊娠期を過ごし、安心して出産を迎えるために重要であることから、今後も本助成を実施し、積極的な受診を促進するために支援してまいります。